

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	教育学への扉 (Door to Education)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	「教育」と「教育学」との間		
担当者名 (Instructor)	柏木 敦(KASHIWAGI ATSUSHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目		

授業の目標(Course Objectives)

教育学に関する基礎的・概略的知識を習得し、教育に関する社会上の諸問題を、教育学の観点から理解・検討するための方法を身につける。

The objectives of this course are twofold: 1) to provide participants with basic and general knowledge of pedagogy, and 2) to provide participants with methods for understanding and examining various social issues related to education from the perspective of pedagogy.

授業の内容(Course Contents)

今日生起している様々な教育問題について、受講者が教育学の基礎的・概略的知識に基づいて、自ら考え、解決するための素材を提供する。

This lecture will provide participants with materials to think about and solve various educational problems that are occurring today, based on their basic and general knowledge of pedagogy.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス(教育の基本的概念および歴史に関する概説)
2. 対象としての子ども
3. 子どもの権利と親の権利
4. 「教育」とは何か、「学校」とは何か
5. 学校と教育の歴史——古代～中世
6. 学校と教育の歴史——近世～近代初期
7. 近現代日本における教育理念
8. 戦後教育改革と教育基本法の理念
9. 教育思想家たち(1)
10. 教育思想家たち(2)
11. 教育基本法(1)
12. 教育基本法(2)
13. 義務教育の原則と現状
14. 中等教育の諸問題

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

予習:各回のテキスト該当箇所を読み、当該テキストの思想的背景や今日的意義について、自分なりの意見をもって講義に臨むこと。

復習:講義の範囲に入らないテキストの箇所と、当日扱った箇所の内容や自分なりに考えたことを結びつけ、自らの課題意識につなげること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 授業毎のワークシート、リアクションペーパーの提出状況と内容(60%)

テキスト(Textbooks)

1. 高橋陽一、2018、『新しい教育通義』、武蔵野美術大学出版会 (ISBN:9784864630719)

参考文献(Readings)

1. 勝野正章・庄井良信、2015、『問いからはじめる教育学』(有斐閣ストウディア)、有斐閣 (ISBN:9784641150140)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

